

平成26年4月3日発行

NO. 87

経 審 博 士 ニュース

この経審博士ニュースは日本コンサルタントグループの販売時期のものを掲載しております。

Windows Xpの2014年問題の対策はできましたか？

■ 2014年4月、Windows XPのサポートが停止

マイクロソフト社は2014年4月に、これまで実施してきたWindows XPの延長サポートを打ち切ることを正式に表明しています。具体的には2014年4月9日以降、セキュリティ更新プログラムはリリースされず、Windows XPに関してのサポートを終了されます。

これが「2014年問題」です。

サポートが終了すると、すぐにWindows XPのPCが使えなくなるわけではありません。しかし、Windows XPを継続使用すると、大きなリスクを負うこととなります。つまり、セキュリティのリスクが大幅にアップするのです。巷では「リスクが約10倍に上昇するのではないか？」等の意見も聞かれます。

通常、OSに対してマイクロソフト社はセキュリティパッチというソフトウェアの保安上の弱点をフォローするために配布される更新プログラムをインターネットから配信しています。PCで自動更新の設定をしているとPCの立上げ、終了時に自動的に行うのであまり意識されていませんが実際には行われています。インターネット上では、常に新手のコンピュータウイルス、ワーム、スパイウェアなどが次々に登場しており、その都度、このパッチが当てられているのです。

つまり、日々のこれらの脅威に対して対応がなくなるということですから、その危険度上昇もうなずけます。

まだ、Windows XPを使用されている方は是非ともリスク退避のために、新たなOSを使用することをお勧め致します。

■ 新たなOS、新たなソフトウェアのお勧め

さて、Windows XPに続くOSといえば、Windows vista、Windows 7、Windows 8と以降続いています。

この中で最新のOSは、2012年10月より販売されたWindows 8ですが特徴はタブレットPCとして使用できるタッチ操作に最適化したユーザーインターフェースであることです。キーボードを取り外してもディスプレイ上をタッチすることにより操作が可能です。既に販売して1年経っているので安定はしてきているといえます。

しかし、現在ビジネスで使用するならWindows 7をお勧めします。Windows 7は2009年10月にリリースされたOSです。リリースから4年以上が経過し、あらかたの不具合やエラーも出そろって、対策もほぼ済んでいます。サポートも2020年まで延長される予定で、ここ数年で買い替えるPCのライフサイクルを考えても安心です。

Windows 7の使用感もWindows XPと変わらないので、導入してすぐにユーザーが使いこなすことができるでしょう。

■ 経審博士シリーズのPCの乗せ替え

Windows XpのPCからWindows 7 or 8のPCに乗せ替えを検討している皆様へ

■ 上記の2014年問題に対して、手持ちのコンピュータを新たなOSのコンピュータに変更している方に対して、経審博士シリーズのデータの移行方法などをインターネットのサポートサイト「サポート情報」で資料掲載しています。是非とも参照してください。

■ 既に経審博士11シリーズをお持ちの方は「経審博士メンバーズ」より無償で最新バージョンをダウンロードすることができます。

経審博士11(+Form)を新しいPCにインストールするときは、最新バージョンのソフトをダウンロードしてインストールして下さい。

最新バージョン 経審博士11 … Ver 11.004

経審博士11+form … Ver 11.104